

## 総額約1.6億円の資金調達を実施しました

小型風洞試験装置「Aero Optim」や、差動機構付き2重プロペラ風力発電機を開発・製造する株式会社日本風洞製作所（代表取締役：ローン ジョシュア）は、2020年6月3日までに、第三者割当増資により計3社から総額約1.6億円の資金調達を実施しましたことをお知らせいたします。

調達しました資金は、主に Aero Optim シリーズの量産化に向けた設備導入や、性能向上に向けた研究開発費として用いる予定です。

### Aero Optim とは？

弊社が開発し、2019年4月に発売した小型風洞。従来、大型・大電力・高価で手の届かなかった「風洞試験装置」を、小型・低電力・低価格化した製品です。空気抵抗の測定や気流の観察のほか、耐風試験など幅広い用途での利用を想定しています。現在、送風面積や流れのクオリティの幅広い需要に応えるべく、風洞の構成要素をユニット化し、送風面積を約70cm四方単位で選べる「Aero Optim-Cell」シリーズをリリースし、発売しています。風洞本体のほか、測定台やスモークマシンなど関連機器の開発にも取り組んでいます。

### 差動機構付き2重プロペラ風力発電機とは？

弊社が開発した、次世代の高効率小型風力発電機。プロペラを2層取り付け、それぞれのプロペラの動力を「差動機構」を通じて1つの発電機に伝達することで、従来のプロペラ1層の風力発電機よりも起動性・発電量に優れ、高いコストパフォーマンスを実現しました。風車本体のほか、強風から風車を保護するための「全自動可倒式タワー」などの関連製品も発売しています。